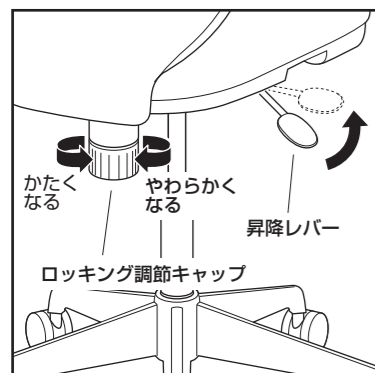
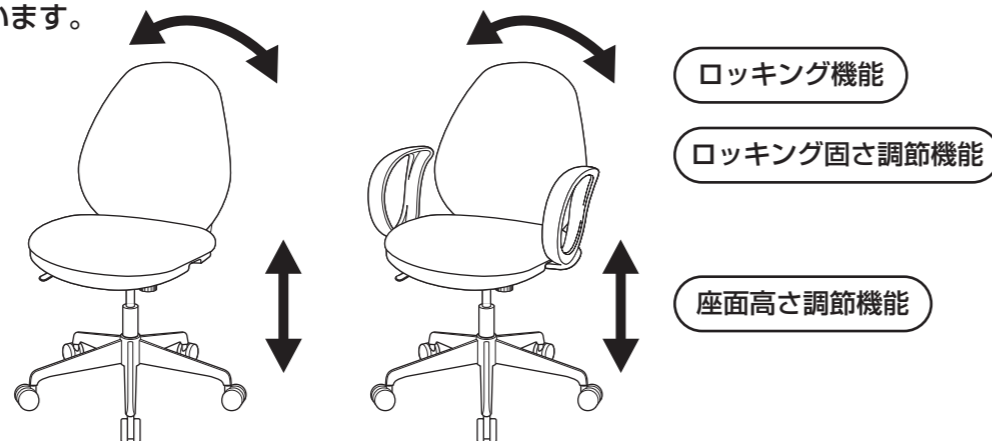


5.ご使用方法

本製品は、以下の機能を備えています。

- ① 座面高さ調節機能
- ② ロッキング機能
- ③ ロッキング固さ調節機能



① 座面高さ調節機能

高さ調節する時は、チェアに座って昇降レバーの操作をしてください。
 ・腰を浮かした状態で昇降レバーを上げると、座面が上昇します。
 ・座ったまま昇降レバーを上げると、座面が下降します。
 ※昇降レバーは押し下げないでください。

② ロッキング機能

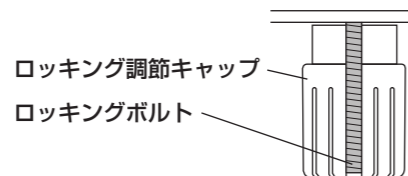
・着座時に背クッションにもたれ掛かることで後方にロッキングします。

③ ロッキング固さ調節機能

・ロッキング調節キャップを右に回せばロッキングを固く出来ます。
 ・ロッキング調節キャップを左に回せばロッキングを柔らかく出来ます。

ロッキング固さを柔らかくする時は

調節キャップを左に回し、お好みの固さに調節してご使用下さい。この時、ロッキングボルトの先端が調節キャップの中に5mm以上入り込まないようにして下さい。



⚠ 注意

ロッキング固さを調節した後は、しっかりと締まっているか確認し、背もたれにグラつきがないか確認して下さい。破損または転倒してけがをする恐れがあります。

6.お手入れの方法

●座の布部は手ではたくか、掃除機でほこりを吸い取って下さい。それ以外は乾いた布または、軽く湿らせた布で汚れをふき取って下さい。(スチール部はよく水分をふき取って下さい。)シンナー、ベンジン、クレンザーなどは使わないで下さい。

●直射日光やストーブなどの発熱体のそばに置かないで下さい。変色や変形したりすることがあります。

7.仕様

品名・品番		高耐荷重チェア・CKT-111/112
外形寸法 (mm)		幅：610、奥行：580、高さ：910～1000
座面の高さ (mm)		455～545
材 質	座部・背もたれ部・肘部 (CKT-112のみ)	ポリプロピレン
	脚部	ナイロン
	張り材	アクリル
	クッション部	ウレタンフォーム

ナカバヤシ株式会社

お客様相談室
TEL:0120-166-779

受付時間/土・日・祝日を除く
10:00~12:00/13:00~17:00

<https://www.nakabayashi.co.jp/>
各種ダウンロードサービスのお問い合わせは上記HPで承ります。

MADE IN TAIWAN

取扱・組立説明書

CKT-111
(肘なし)

CKT-112
(肘付き)



品名
高耐荷重チェア
品番
CKT-111/112

このたびは、弊社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前に

- この説明書は製品のご使用にあたり、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために注意していただきたい事項について説明したものです。安全にお使い頂くために必ずお守り下さい。
- ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。また、製品に付いております品質表示ラベルも併せてお読み下さい。
- この説明書とラベルの表示内容は、誤った使い方や事故を防止するための注意事項を記載したものです。大切に保管し、必要な時にお読み下さい。
- 製品を第三者に貸与したり譲渡する場合には、この取扱説明書を必ず添付し、取扱方法を十分に説明して下さい。

1.安全上の注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠ 警告

- ガスシリンダーは分解、注油しないで下さい。爆発して、けがをすることがあります。
- 焼却処分はしないで下さい。ガスシリンダーの高圧ガスが爆発したり、有毒ガスが発生することがあります。
- 可動部の隙間に手をいれしないで下さい。けがをする事があります。

⚠ 注意

- 空席のまま座面の昇降レバーを操作しないで下さい。座面や背が急上昇してけがをすることがあります。
- 滑りやすい床面で使わないで下さい。転倒してけがをすることがあります。

- 組立式ですのでネジ類はしっかり締め付けて組み立てて下さい。また、ご使用中に、ボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は必ず締め直して下さい。ボルトやネジが緩んだまま使うと本体が壊れてけがをすることがあります。
- 幼児を一人で座らせしないで下さい。転倒してけがをすることがあります。
- 異常を発見したまま使わないで下さい。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 改造をしないで下さい。けがをすることがあります。

2.未永くご使用いただくためのご注意

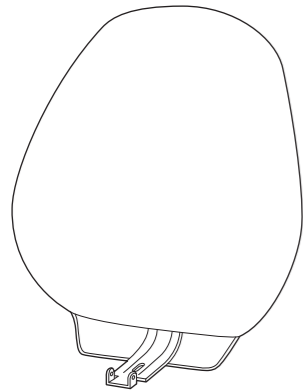
- この商品は室内または屋内用です。屋外での使用や水ぬれは、故障やサビ・変色の原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。

- 可動部に注油しないでください。油がたれて床や衣類を汚す原因になります。
- ときどきボルトやネジのゆるみによるがたつきがないか点検し、がたつきがある場合は締め付けてください。

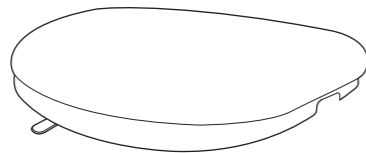
3. 部品の確認

組立てる前に、部品を確認して下さい。

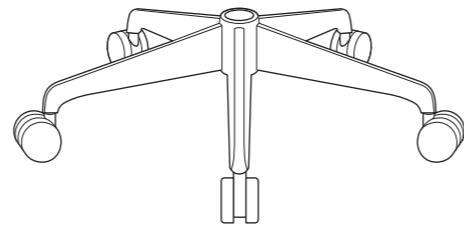
●背クッション



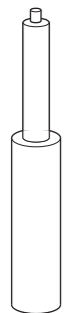
●座クッション



●ベース

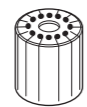


●ガスシリンダー



これらの部品は座に取り付けられています

●ロックング調節キャップ



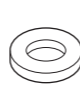
●カバー



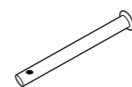
●バネ



●リング



●固定ピン



●抜け止めピン

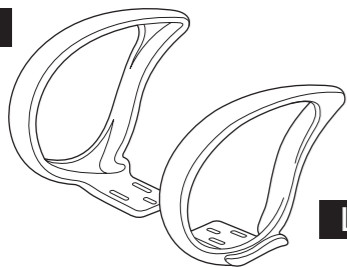


●座金 1個



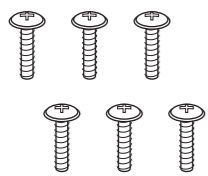
●肘 R.L

R



L

●ボルト 6本

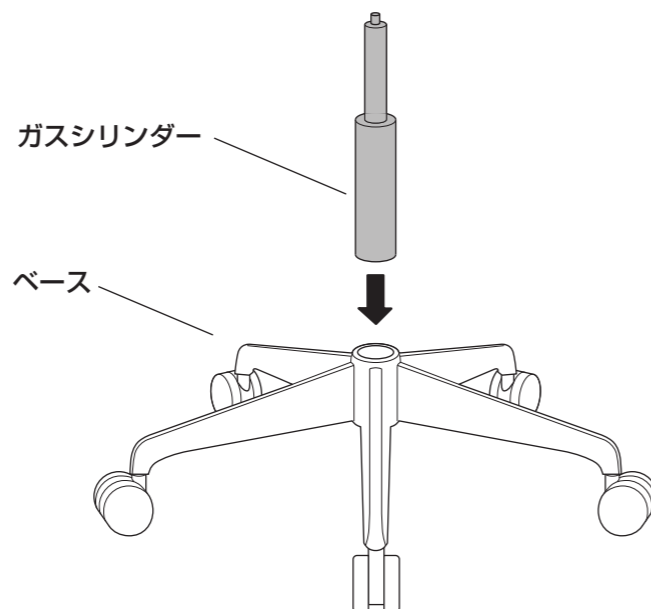


4. 組立て方法

組立ての際は、必ず手袋を着用して下さい。

1. 脚部の組立て

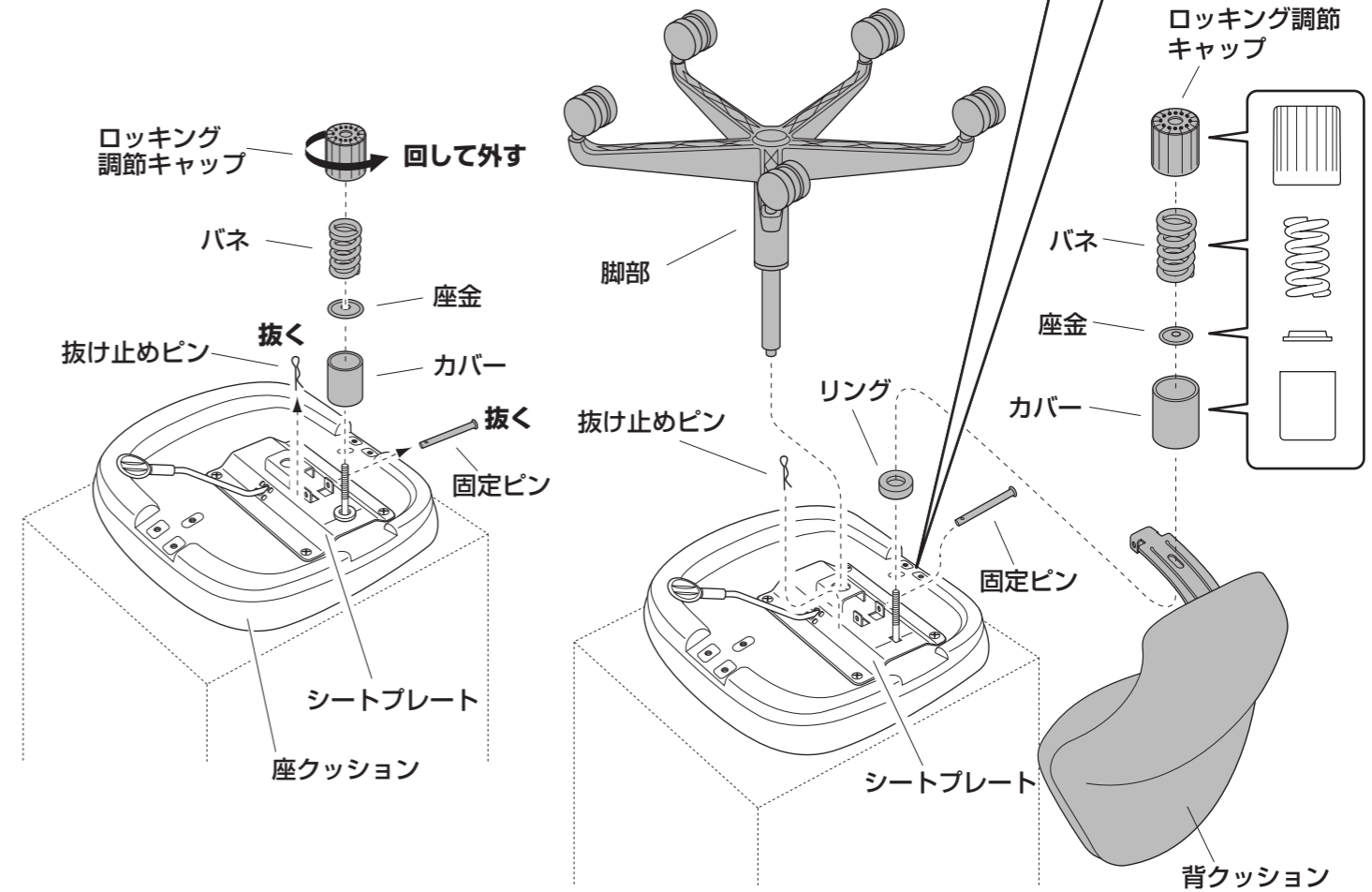
・ガスシリンダーを図の順でベースに差し込んで取り付けます。



CKT-112のみ付属
(※CKT-111には付属していません)

2. 背クッション・脚部の取付け

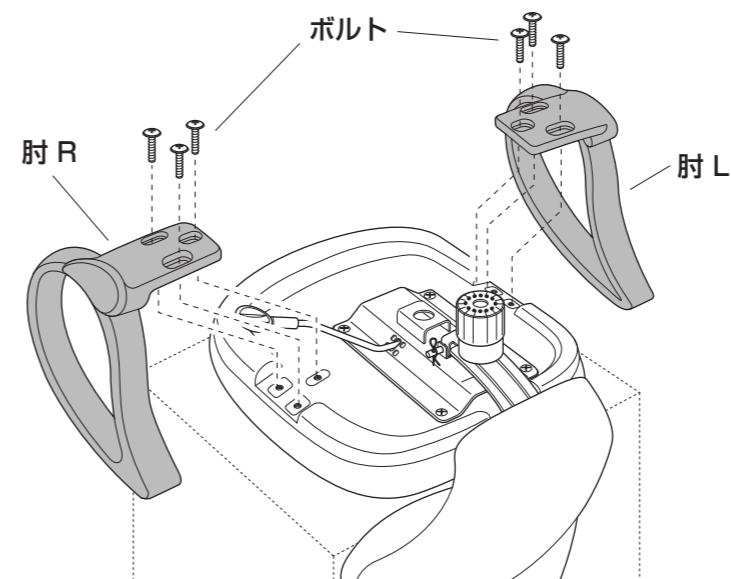
・座クッションを台など安定した所へ裏返しに置き、あらかじめシートプレートに取付けられているロックング調節キャップ・固定ピン・抜け止めピン等を取り外します。
※抜け止めピンを取り外す時は、鋭利な部分にご注意の上、慎重に作業を行って下さい。
背もたれをシートプレートに固定ピンやロックング調節キャップ等で取付け、固定ピンに抜け止めピンを取付けます。
・1で組み立てた脚部をシートプレートに差し込みます。この時、できるだけしっかりと差し込んで下さい。



3. 肘の取付け (CKT-112のみ)

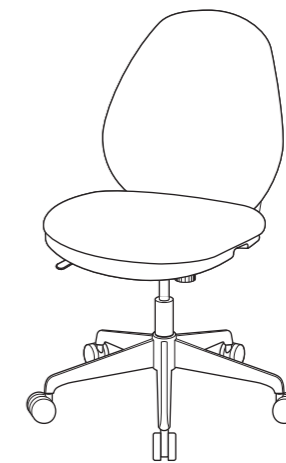
※CKT-111に肘の取付けはありません。

・肘R.Lをボルトで取付けます。



4. 完成

・組上がったチェアの各部をチェックして、異常がないか確認して下さい。
・最後にチェアに座り、体重をかけてガスシリンダーをしっかりと固定して下さい。



CKT-111



CKT-112